

平成 31 年 1 月 15 日

各 位

会 社 名 マーチャント・バンカーズ株式会社  
代表取締役社長兼 CEO 一 木 茂  
(コード 3121 東証 2 部)  
問合せ先 取締役 CFO 兼財務経理部長 高 崎 正 年  
(TEL 03-5224-4900)

## 仮想通貨「Z502」に関するイノベーション合同会社との資本業務提携に関するお知らせ

当社は、多くの仮想通貨投資家の人気を集めている仮想通貨「Z502(502 Bad Gateway Token)」のメディア展開を実施するイノベーション合同会社（本店：熊本市東区、代表者：代表社員 山口真一郎、以下、「イノベーション社」といいます。）と、本日、資本業務提携に関して、基本合意することを決定いたしましたので、ご報告させていただきます。

### a. 提携の理由

「Z502(<https://z502token.com/>)」は、仮想通貨の健全な発展を目的に、投資家を保護するとともに、仮想通貨交換業者や仮想通貨発行体に対して、信頼ある行動を促すことを目的に発行された仮想通貨であります。例えば、主に国内の仮想通貨交換所のサーバーダウンやハッキングなどにより、投資家が損失を受けた際に、「Z502」のエアドロップ（無償での配布）が行われ、多くの仮想通貨投資家の支持を集めております。

当社グループは、この、仮想通貨市場の健全な発展のための、「Z502」の取組みに賛同し、下記の取組みを行っていくことにつき、今般、「イノベーション社」と基本合意いたしました。

### b. 提携の内容等

#### (イ) 資本提携の内容

「イノベーション社」は、「Z502」のプロモーションのため、20 百万円程度の資金調達を希望しておりますが、その資金の一部又は全てにつきまして、当社が、「イノベーション社」の持分出資により拠出することいたします。なお、本出資は、連結子会社又は持分法適用関連会社に該当しない範囲で行うものいたします。

また、「イノベーション社」による当社株式の取得は予定しておりません。

#### (ロ) 業務提携の内容

##### (1) 「Z502」腕時計の制作協力

「イノベーション社」は、「Z502」に関しまして、イメージキャラクターの活用など、独特のプロモーションを行っておりますが、上記(1)の資金使途のひとつとして、個性的・高品質な腕時計を企画・制作し、「Z502」の投資家への販売を計画しております。当社は、この腕時計の企画・制作をバックアップするとともに、その販売を通じ、「Z502」の投資家層を広げてまいります。また、この腕時計を、当社株式を一定数以上所有頂いた株主各位に、贈呈させていただきます。その条件等は、別途ご案内させていただきます。

(2) インフルエンサーマーケティング領域に進出

「Z502」のファウンダーである「502 おじさん」「502 大佐」は著名な仮想通貨インフルエンサーであり、多くの仮想通貨投資家からの支持を集めております。また、先日、仮想通貨情報メディア「コインディスカバリー( <https://coin-discovery.com/> )」をローンチし、仮想通貨投資家向けに最新情報やノウハウなどを提供開始しております。「イノベーション社」は当社子会社であるMBKブロックチェーンと共同で「仮想通貨インフルエンサープロダクション」を運営し、当社が投資する「COINCOME」「BEXAM」といったプロジェクトのプロモーションを皮切りに海外に進出し様々なプロジェクトのインフルエンサーマーケティングを実施いたします。なお、参加するインフルエンサーへの対価の支払いは、「イノベーション社」の運営する「仮想通貨インフルエンサープロダクション」より、仮想通貨「Z502」によって実施されます。

(3) 株式投資家への「Z502」の認知度アップ

当社株主優待制度の一環として、当社が「イノベーション社」より無償で「Z502」を取得のうえ、当社の株主各位に、「Z502」をお持ち頂くことにより、投資家層を広げてまいります。

c. 提携の相手先の概要

(1)名称	イノベーション合同会社
(2)所在地	熊本市東区月出七丁目1番8-103号
(3)代表者	代表社員 山口真一郎
(4)事業内容	仮想通貨「Z502」のメディア展開
(5)資本金	20万円
(6)設立年月日	平成29年6月30日
(7)出資者及び出資比率	山口真一郎 100%
(8)当社との関係	人的、資金的又は取引関係はありません。また、関連当事者に該当いたしません。
(9)財政状態及び経営成績	イノベーション社の意向により非開示とさせていただきます。

d. 提携の日程並びに今後の見通し

日程並びに持分の取得価額等、「イノベーション社」に対する持分出資につきましては、決定しだいでご報告させていただきます。

また、株主優待の詳細につきましては、詳細を今年2月中に決定のうえ、ご報告させていただきます。

本件につきまして、現段階におきましては、平成31年3月期以降の業績に与える影響は軽微であると考えており、正式決定いたしましたら、また、業績に重要な影響を与える事象が生じましたら、改めて開示させていただきます。

以上

(参考) 当期連結業績予想(平成30年11月9日公表分)及び前期連結実績

(単位:百万円)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
当期連結業績予想 (平成31年3月期)	2,500	420	270	500
前期連結実績 (平成30年3月期)	1,794	△29	△156	△134